

TCFD 提言への賛同表明について

株式会社エフオン（本社：東京都千代田区、代表取締役：島崎知格）は TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース※）提言への賛同を行いましたのでお知らせいたします。



気候変動は、現在、最も重要な社会課題の一つであり、エネルギー事業や山林経営を営むエフオングループに与える影響も重要であると認識しています。気候変動による制度、市場、気象などの変化はリスクとなりえる一方で、木質バイオマス発電など脱炭素社会に貢献する事業を進めている当社グループにとっては大きな機会でもあります。

今後は、TCFDフレームワークに沿って、当社グループの気候変動に関するリスクと機会の特定を進め、中長期的な戦略に反映します。その結果については、ホームページ等を通じ積極的に情報開示していきます。

※G20 の要請により金融安定理事会（FSB）により設立され、2017年に気候変動に関する企業等の情報開示のあり方について提言を公表。気候変動関連のリスクと機会について「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」を開示することを推奨しています。<https://www.fsb-tcf.org/>

<ご参考情報>

TCFD フレームワークに基づく当社の開示情報

<https://www.ef-on.co.jp/corporate/sustainability/>

本件に関するお問い合わせ：

株式会社エフオン サステナビリティ推進準備室

TEL 03-6823-6300